

### 3 体細胞クローン後代牛由来の乳肉の性状調査

#### 【調査概要】

試験の名称	比較内容 (一般牛のものと比較)	所見
栄養成分分析	乳肉検体の栄養成分	差異は認められず
アレルギー誘発試験 (マウス腹壁法試験)	乳肉検体のアレルギー 誘発性	差異は認められず
消化試験(ラット)	乳肉検体の消化性	差異は認められず
小核試験(ラット)	乳肉検体の変異原性 (DNAへの傷害)	差異は認められず
飼養試験(ラット)	乳肉検体をラットに与え た場合の成長や生理 状態	差異は認められず

30

### 体細胞クローン後代牛由来の 乳肉の性状調査の結論

後代牛が生産した乳肉について、栄養分析、アレルギー誘発試験、消化試験、小核試験、飼養試験の各検査を実施

#### 【結論】

後代牛と一般牛が生産した乳肉を比較した結果  
差異は認められないことが判明

31

## まとめ

- 体細胞クローンそのものについては、死産や病死率が高く作製効率が低い
  - 人工授精などの方法に比べてコストがかかる
- 後代牛については、死産・病死率や成長が一般牛と比べて統計学的に差はなかった
  - また、後代牛が生産した乳肉の性状についても一般牛と差異がなかった



今後、研究の進展によって作製効率が高まれば、家畜改良の促進などの面で利用が期待